

記者発表

令和4年4月8日

仙台国際ハーフマラソン大会実行委員会

(公財)仙台市スポーツ振興事業団

〔担当〕須田・安達

☎ 022-297-1322

SENDAI HALF MARATHON 2022 INTERNATIONAL CHALLENGE RACE 5.8SUN

令和4年(2022年)5月8日(日)

『仙台国際ハーフマラソン 2022チャレンジレース』が開催されます

4000名出場のエリート・一般の部は、10時05分にスタート！！

令和4年(2022年)5月8日(日)に開催する『仙台国際ハーフマラソン 2022チャレンジレース』の概要および主な出場選手等について、お知らせいたします。

記

添付書類

1) 大会概要について

2) 主な出場選手等について

[別紙資料] 取材のご案内

【招待選手の欠場について】

資料に記載されている招待選手のうち

- ・星岳 選手(コニカミノルタ)
- ・和久夢来 選手(ユニバーサルエンターテインメント)
- ・ナオミ・ムツソーニ 選手(ユニバーサルエンターテインメント)

の3選手につきましては、参加申込み後に、『欠場』となりましたので、ご了承願います。

仙台国際ハーフマラソン大会 実行委員会

〒983-0045 仙台市宮城野区2-11-6 弘進ゴムアスリートパーク仙台 (公財)仙台市スポーツ振興事業団 スポーツ事業課内

☎ 022-297-1322 FAX 022-297-1323 E-mail sendai_half@spf-sendai.jp

1) 大会概要について

仙台国際ハーフマラソン 2022チャレンジレース 大会概要

- 1 大会名 仙台国際ハーフマラソン 2022チャレンジレース
- 2 主催 仙台市、(公財)仙台市スポーツ振興事業団、(一財)宮城陸上競技協会、仙台市陸上競技協会、みやぎ障害者陸上競技協会、河北新報社、東北放送
- 3 後援 (公財)日本陸上競技連盟、(一社)日本パラ陸上競技連盟、宮城県、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、仙台市スポーツ協会、仙台市スポーツ推進委員協議会、仙台市学区民体育振興会連合会、NHK仙台放送局、仙台放送、ミヤギテレビ、khb 東日本放送、朝日新聞仙台総局、毎日新聞仙台支局、読売新聞東北総局、産経新聞東北総局、日刊スポーツ新聞社東北総局 (以上予定)
- 4 主管 仙台国際ハーフマラソン大会実行委員会
- 5 協力 宮城県警察、仙台市交通指導隊、仙台市消防局、仙台市立病院、仙台医療センター、仙台市医師会、仙台市交通局、仙台市障害者スポーツ協会、宮城県障害者スポーツ協会、社会福祉法人仙台市障害者福祉協会、株式会社ジー・シー・アイ、宮城県心筋梗塞対策協議会、特定非営利法人ALPEN、東北医科薬科大学、東北福祉大学、東北文化学園大学、尚絅学院高等学校、聖和学園高等学校、仙台市立東華中学校、仙台リゾート&スポーツ専門学校、東北文化学園専門学校、仙台医健・スポーツ専門学校、市民スポーツボランティアSV2004、日本運輸倉庫株式会社 仙台支店、仙台国際ホテル、スポーツコミッションせんだい、株式会社テレコム 東北支店、仙台明走会、三友レッカー株式会社 (以上予定)

- 6 種目 ハーフマラソン(21.0975km)
- 7 開催日 2022年(令和4年)5月8日(日)
- 8 日程

■5月7日(土) 大会前日

・15:00~16:00 特別招待選手記者会見/ウェスティンホテル仙台(予定)

■5月8日(日) 大会当日

- ・7:00 開場(検温・体調チェック受付・手荷物預かり)/弘進ゴム アスリートパーク仙台(以下、弘進パーク仙台)
- ・9:45 車いすの部 スタート/弘進パーク仙台 南側路上
- ・10:05 エリートの部、日本陸連登録者の部、一般の部 第1ウェーブスタート/弘進パーク仙台 南側路上
- ・10:15 一般の部 第2ウェーブスタート/弘進パーク仙台 南側路上
- ・12:42 競技終了

- 9 コース 弘進パーク仙台/南側路上(スタート)~<折返し>イオンスタイル仙台卸町前~<折返し>定禅寺通141ビル前~<折返し>二十人町いたがき本店前~弘進パーク仙台(フィニッシュ)
※ワールドアスレティックス(WA)、(公財)日本陸上競技連盟/公認コース

- 10 参加募集
- 1)優先出走権エントリー枠【2020(第30回)大会中止に伴う優先出走権対象者】
2022年(令和4年)1月12日(水)20:00~2022年(令和4年)1月28日(金)まで *先着
- 2)一般参加者追加エントリー枠【優先出走権エントリー枠で定員に達しない場合にのみ追加募集】
2022年(令和4年)2月9日(水)20:00~2022年(令和4年)2月22日(火)まで *先着
- 【参考】救護ボランティアランナー
2021年(令和3年)12月13日(月)~2022年(令和4年)1月5日(水)まで *37名の申込み

- 11 定員・参加料

種目	定員	参加料
エリートの部	100名	10,000円
日本陸連登録競技者の部	700名	
一般の部	3,175名	
車いすの部	25名	9,000円

- 12 制限時間 2時間25分

- 13 表彰

※表彰式は実施しない。

- 1) エリートの部・日本陸連登録競技者の部/総合
男女各1~8位に、賞状・記念品を授与。1~8位の入賞者には賞状・記念品を後日送付。
- 2) 一般の部
総合及び年代別(下記の5区分)は、男女各1~8位に、賞状・記念品を授与。
①18歳~29歳 ②30歳~39歳 ③40歳~49歳 ④50歳~59歳 ⑤60歳以上
※総合の男女1~8位の入賞者には賞状・記念品を後日送付。
※年代別の順位は「ネットタイム」により決定します。1~8位に賞状・記念品を後日送付。
- 3) 車いすの部
男女各1~8位に、賞状および記念品を授与。1~8位の入賞者には賞状・記念品を後日送付。
- 4) 1歳刻み表彰
大会当日の年齢を対象に、各年齢の男女別1~10位を表彰。
※カテゴリー(エリート・陸連登録・一般)を問わず、ネットタイムで順位を決定し、対象者に賞状を後日送付。

14 申込み状況(3/16時点集計)

■エリートの一部・日本陸連登録競技者の部・一般の部

種 別		男	女	計
招 待 関 係	国内特別	3	1	4
	実業団等	20	18	38
	大学	5	0	5
	東北陸上競技協会	5	3	8
	東北学生陸上競技連盟	0	2	2
	都市交流(久米島、神戸、広島)	3	3	6
招待選手/合計		36	27	63
エリートの一部(実業団・大学等)		61	3	64
エリートの一部		12	24	36
日本陸連登録競技者の部		512	78	590
エリートの一部・日本陸連登録競技者の部/合計		585	105	690
一般の部		2,921	550	3,471
一般の部(ゲストランナー)		4	1	5
一般の部/合計		2,925	551	3,476
合 計		3,546	683	4,229

■車いすの部

種 別		男	女	計
国内特別		1	0	1
招 待		2	1	3
一 般		19	0	19
車いすの部/合計		22	1	23

【合 計】

種 別		男	女	計
ハーフマラソン/エリート・日本陸連登録競技者・一般		3,546	683	4,229
ハーフマラソン/車いす		22	1	23
合 計		3,568	684	4,252

【参加者データ分析】

- ①都道府県別/福井県、和歌山県、鳥取県、高知県、鹿児島県を除く都道府県より参加
- ②宮城県の参加者/2,232名で全体の約52.49%(前回は約43.05%)
- ③仙台市の参加者/1,613名で全体の約37.93%(前回は約31.55%)
- ④県外で最も多い都道府県/東京都489名で全体の約11.50%(前回は約13.89%)

15 運営スタッフ

1)各関係団体

・宮城県警察	…	約	200	名
・交通指導隊	…	約	227	名
・陸上競技協会	…	約	250	名
・仙台市スポーツ推進委員協議会	…	約	300	名
・仙台市学区民体育振興会連合会	…	約	1,000	名
・仙台市	…	約	200	名
・仙台市スポーツ振興事業団	…	約	50	名
・医療ボランティアスタッフ	…	約	15	名
・仙台市消防局	…	約	50	名
・仙台市立病院	…	約	10	名
・交通警備員等	…	約	650	名
・その他(設営, 計測業者等)	…	約	1,000	名

2)ボランティア(*3月25日現在)

・個人ボランティア申込状況/定員180名	…	約	250	名	*申込み296名(抽選)
・団体ボランティア申込状況/7団体	…	約	210	名	
		約	<u>4,412</u>	名	

16 救護ランナー

1) 救護サポートランナー 109 名

(医師65名、看護師27名、准看護師0名、救急救命士17名)

2) 救護ボランティアランナー 37 名

(医師13名、看護師10名、准看護師1名、救急救命士8名、救急課程修了者5名)

●救護サポートランナー

レースに出場しながら救護活動に協力

●救護ボランティアランナー

大会スタッフとしてユニホームを着用しコースを走りながら救護活動を行う



17 各種イベント

1) Sugar Elite Kids 仙台 2022年4月9日(土) 弘進ゴム アスリートパーク仙台(仙台市陸上競技場)

本大会の特別イベントとして、特別ゲストランナー大迫傑選手の指導によるスペシャルレッスン「Sugar Elite Kids 仙台」を開催。

- ①小学4～6年生 定員40名 (9:30～11:45) 申込み人数:81名(抽選) → 42名受付
- ②中学1～3年生 定員40名 (13:00～15:15) 申込み人数:49名(抽選) → 42名受付

2) 谷川真理ランニングクリニック 2022年4月23日(土) 弘進ゴム アスリートパーク仙台(仙台市陸上競技場)

ゲストランナーの谷川真理さんを講師にお迎えし、本大会参加者限定のランニングクリニックを開催。

- ①谷川真理ランニングクリニック 定員100名 (10:00～11:30) 申込み人数:81名

2) 主な出場選手等について

1. 特別招待選手

[男子特別招待]

川内 優輝 KAWAUCHI Yuki

あいおいニッセイ同和損害保険 1987年3月5日生 (35歳)



今まで「公務員ランナー」として数多くの国内外のレースで活躍。2019年4月からはプロランナーとして新たなスタートを切った。日本代表として4度の世界選手権に出場。ワールドマラソンメジャーズの一つである2018ポストンマラソンで日本人として31年ぶりの優勝する等輝かしい実績を持つ。2020防府読売マラソンでは、前人未踏のフルマラソン 2時間20分以内記録(「サブ20」)100回を達成。2021大阪国際女子マラソンでは、国内女子マラソンで初めてとなる男子ベースメーカーの大役を見事に務めた。2021びわ湖毎日マラソンでは2時間07分27秒で自己ベストを8年ぶりに更新。2022全日本実業団ハーフマラソンでは、1時間02分13秒で自己ベストを10年ぶり5秒更新するなど、年を重ねてなお進化を続ける。今回、通算10回目の節目の出場となる社の都での走りに期待。

自己最高記録

ハーフマラソン：1時間02分13秒 (2022全日本実業団ハーフマラソン)
マラソン：2時間07分27秒 (2021びわ湖毎日マラソン)

主な戦績

2021 びわ湖毎日マラソン/10位/2時間07分27秒
2020 防府読売マラソン/2位/2時間10分26秒
2019 びわ湖毎日マラソン/8位/2時間09分21秒
2018 ポストンマラソン/1位/2時間15分58秒

1

[男子特別招待]

設楽 悠太 SHITARA Yuta

Honda 1991年12月18日生 (30歳)



東洋大学時代は、双子の兄・啓太選手とともに箱根駅伝で活躍。3年連続区間賞の走りで、チームの2度の優勝に貢献。現所属では、チームのエースとして各駅伝で活躍するとともに、2015北京世界陸上、2016リオ五輪に10000mの代表として出場。2017年以降は、闘いの舞台をトラックからマラソンに移すと、2017マトニ・ウスティハーフマラソン(チェコ)で1時間00分17秒を記録し、10年ぶりに日本記録(当時)を更新。2018東京マラソンでは、2時間06分11秒で2位となり16年ぶりに日本記録(当時)を塗り替える偉業を成し遂げた。2019ゴールドコーストマラソンで2時間7分50秒の大会新記録でマラソン初優勝を果たす。東京五輪代表選考会2019マラソングランドチャンピオンシップでは、スタートから先頭に立ち積極果敢な走りを見せるも代表の座を逃す。今回、初めてとなる社の都でのレースで、持ち味の積極性とスピードを活かした走りに期待。

自己最高記録

5000m：13分34秒68 (2015織田記念国際陸上)
10000m：27分41秒97 (2017八王子ロングディスタンス)
ハーフマラソン：1時間00分17秒 (2017マトニ・ウスティハーフ) *当時最高・日本歴代3位
マラソン：2時間06分11秒 (2018東京マラソン) *当時最高・日本歴代3位

主な戦績

2019 ゴールドコーストマラソン/1位/2時間7分50秒(大会新記録)
2018 東京マラソン/2位/2時間06分11秒 *日本歴代3位
2017 ベルリンマラソン/6位/2時間09分03秒
2017 マトニ・ウスティハーフマラソン/8位/1時間00分17秒 *日本歴代3位

2

[男子特別招待]

神野 大地 KAMINO Daichi

セルソース 1993年9月13日生 (28歳)



青山学院大学3年生時の箱根駅伝往路5区で、区間新記録を樹立し「3代目の神」として大学の総合優勝に大きく貢献。大学卒業後は実業団のユニコムに入社し、2018年5月にプロ転向。自身初の日本代表として出場した2019年アジア選手権マラソンでは、ゴール手前まで激しいデットヒートを繰り広げる中、フィニッシュ手前で逆転し、2時間12分18秒のタイムでマラソン初優勝を果たすと同時に、見事アジアチャンピオンに輝いた。2021防府読売マラソンでは、同タイムで着差ありの2位惜敗となるも、自身初のマラソン2時間10分以内(サブテン)となる2時間09分34秒の好タイムで日本人トップとなり、2024パリ五輪マラソン代表選考会(MGC)の出場権を獲得。今回2度目となる社の都で、世界につながる走りを期待したい。

自己最高記録

5000m：13分56秒05 (2018日体大記録会)
10000m：28分17秒54 (2016ホクレンディスタンス網走)
ハーフマラソン：1時間01分04秒 (2017香川丸亀国際ハーフマラソン)
マラソン：2時間09分34秒 (2021防府読売マラソン)

主な戦績

2021 防府読売マラソン/2位/2時間09分34秒
2019 アジアマラソン選手権/1位/2時間12分18秒
2019 熊本甲佐10マイルロードレース/4位/46分18秒

3

[女子特別招待]

前田 穂南 MAEDA Honami

天満屋 1996年7月17日生 (25歳)



兵庫県尼崎市出身。大阪薫英女学院高校3年時に1500mでインターハイ大阪府大会を大会新記録で優勝。現所属では、ロードレースで頭角を現し、2度目のマラソン挑戦となった2017北海道マラソンで2時間28分48秒のタイムで見事に優勝。マラソングランドチャンピオンシップ(MGC)ファイナリスト女子第1号となった。2018大阪国際女子マラソンでは、2時間23分48秒で2位となり自己ベストを5分更新。2018世界ハーフマラソン選手権に自身初となる日本代表として出場。2019マラソングランドチャンピオンシップでは、圧巻の走りで2位に4分近い大差をつけ2時間25分15秒で優勝。東京五輪代表の座を射止める。初の夢舞台での果敢なレース運びは結果に結び付かなかったが、この経験を糧に2024パリ五輪への新たな挑戦が始まる。

自己最高記録

5000m：15分31秒51 (2020ホクレンディスタンス千歳)
10000m：31分34秒94 (2020ホクレンディスタンス深川)
ハーフマラソン：1時間09分08秒 (2019山陽女子ロードマラソン)
マラソン：2時間23分30秒 (2021大阪国際女子マラソン)

主な戦績

2021 大阪国際女子マラソン/2位/2時間23分30秒
2020 青梅マラソン(30km)/1位/1時間38分35秒 *日本女子最高記録
2019 マラソングランドチャンピオンシップ/1位/2時間25分15秒
2018 大阪国際女子マラソン/2位/2時間23分48秒
2017 北海道マラソン/1位/2時間28分48秒

301



[車いす特別招待]

鈴木 朋樹 SUZUKI Tomoki

トヨタ自動車 1994年6月14日生 (27歳)

千葉県船山市出身。4歳のときに親のすすめで車椅子陸上に出会い、風を切って走る爽快感で、陸上に打ち込むようになった。トラック競技の中長距離を専門とするが、車いすマラソンでも活躍しており、国内大会のみならず国際大会でも上位成績を収めている。2020年の東京マラソンでは、大会新記録を樹立し初優勝を飾り、2021年の東京パラリンピックでは、4×100ユニバーサルリレーで銅メダルを獲得するほどの実力者である。座右の銘のとおり「未来は自分で創る」選手として、今後も活躍が大いに期待される。

自己最高記録

マラソン：1時間18分37秒 (2021大分国際車いすマラソン) *日本記録

主な戦績

2021大分国際車いすマラソン/2位/1時間18分37秒
2021東京パラリンピックマラソン/7位/1時間30分45秒
2020大分国際車いすマラソン/1位/1時間22分02秒
2020東京マラソン/1位/1時間21分52秒
2019ロンドンマラソン/3位/1時間33分51秒

401

2. 国内招待選手および有力選手




1) 実業団等招待選手[男子]

 <p>アレクサンダー・ムティイ 11 ALEXANDER Mutiso ND ソフト 2020 パレンシアハーフマラソン 4位/57分59秒</p>	 <p>ベナード・キマニ 12 BERNARD Kimani コモディイダ 2021 全日本実業団ハーフマラソン 3位/1時間00分30秒 2019 CPC LOOP ハーフマラソン 3位/59分59秒</p>	 <p>ロロット・アンドリュウ 13 LOROT Andrew SUBARU 2019 東日本実業団選手権(10000m) 2位/27分33秒21</p>
 <p>高久 龍 14 TAKAKU Ryu ヤクルト 2021 福岡国際マラソン 5位/2時間08分38秒 2020 東京マラソン 8位/2時間06分45秒</p>	 <p>小椋 祐介 15 OGURA Yusuke ヤクルト 2021 びわ湖毎日マラソン 5位/2時間06分51秒 2020 香川丸亀国際ハーフマラソン 2位/1時間00分00秒</p>	 <p>星 岳 16 HOSHI Gaku ユニカミノルタ 2022 大阪マラソン・びわ湖毎日マラソン 5位/1時間07分31秒 2018 尾山ディマラソン(ハーフ) 6位/1時間02分20秒</p>
 <p>村山 謙太 17 MURAYAMA Kenta 旭化成 2022 大阪ハーフマラソン 6位/1時間01分45秒 2019 ベルリンマラソン 9位/2時間08分56秒</p>	 <p>渡邊 利典 18 WATANABE Toshinori GMO インターネットグループ 2020 勝田全国マラソン 1位/2時間11分17秒</p>	 <p>二岡 康平 19 FUTAOKA Kohei 中電工 2021 福岡国際マラソン 7位/2時間09分15秒 2017 玉名ハーフマラソン 2位/1時間03分18秒</p>
 <p>青木 優 20 AOKI Masaru カネボウ 2021 びわ湖毎日マラソン 2時間07分40秒</p>	 <p>小山 直城 21 KOYAMA Naoki Honda 2021 ホクレンディスタンス湖川(10000m) 5位/27分55秒16 2020 全日本実業団ハーフマラソン 1時間01分08秒</p>	 <p>北島 寿典 22 KITAJIMA Hisanori 安川電機 2022 別府大分毎日マラソン 2時間12分01秒 2021 びわ湖毎日マラソン 2時間09分54秒</p>
 <p>清谷 匠 23 KIYOTANI Takumi 中国電力 2022 大阪ハーフマラソン 1時間01分25秒 2021 びわ湖毎日マラソン 2時間09分13秒</p>	 <p>大石 港与 24 OISHI Minato トヨタ自動車 2022 全日本実業団ハーフマラソン 1時間01分25秒 2020 東京マラソン 2時間08分52秒</p>	 <p>越川 堅太 25 KOSHIKAWA Kenta 日立物流 2022 全日本実業団ハーフマラソン 1時間01分18秒 2021 日本体育大学長距離競技会(10000m) 28分54秒80</p>
 <p>柴田 拓真 26 SHIBATA Takuma 小森コーポレーション 2020 防府読売マラソン 5位/2時間10分48秒 2020 全日本実業団ハーフマラソン 1時間02分43秒</p>	 <p>熊橋 弘将 27 KUMAHASHI Hiromasa 山陽特殊製鋼 2020 東京マラソン 2時間12分10秒 2020 全日本実業団ハーフマラソン 1時間01分47秒</p>	 <p>飯田 貴之 28 IIDA Takayuki 富士通 2022 箱根駅伝(4区:20.9km) 3位/1時間01分46秒 2019 世田谷246ハーフマラソン 1位/1時間03分11秒</p>
 <p>相馬 崇史 29 SOMA Takashi 大塚製薬 2022 大阪ハーフマラソン 1時間03分07秒</p>	 <p>天野 誠也 30 AMANO Seiya 自衛隊体育学校 2020 日本選手権(10000m) 28分08秒94 2019 新潟ハーフマラソン 8位/1時間03分26秒</p>	

2)実業団等招待選手[女子]

	<p>岩出 玲亜 311 IWADE Reia</p> <p>千葉陸協</p> <p>2019 名古屋ウィメンズマラソン 5位/2時間23分52秒</p> <p>2019 大阪ハーフマラソン 1位/1時間09分46秒</p>		<p>和久 夢来 312 WAKU Mirai</p> <p>ユニバーサルエンターテインメント</p> <p>2021 名古屋ウィメンズマラソン 時間切れ0秒</p> <p>欠場</p>		<p>ナオミ・ムッソーニ 313 NAOMI Muthoni</p> <p>ユニバーサルエンターテインメント</p> <p>2021 山陽女子ロードレース(10km) 時間切れ0秒</p> <p>欠場</p>
	<p>松下 菜摘 314 MATSUSHITA Natsumi</p> <p>天満屋</p> <p>2022 大阪国際女子マラソン 3位/2時間23分05秒</p> <p>2021 全日本実業団ハーフマラソン 4位/1時間10分18秒</p>		<p>大東 優奈 315 DAITO Yuna</p> <p>天満屋</p> <p>2022 全日本実業団ハーフマラソン 7位/1時間10分12秒</p>		<p>上田 雪菜 316 UEDA Yukina</p> <p>ダイハツ</p> <p>2020 大阪ハーフマラソン 2位/1時間10分49秒</p>
	<p>池田 千晴 317 IKEDA Chiharu</p> <p>日立</p> <p>2021 山陽女子ロードレース(ハーフ) 1時間11分10秒</p> <p>2020 全日本実業団ハーフマラソン 1時間11分28秒</p>		<p>田村 紀薫 318 TAMURA Toshika</p> <p>日立</p> <p>2020 全日本実業団ハーフマラソン 1時間11分13秒</p> <p>2019 全日本実業団ハーフマラソン 1時間12分16秒</p>		<p>松田 杏奈 319 MATSUDA Anna</p> <p>デンソー</p> <p>2021 山陽女子ロードレース(ハーフ) 1時間11分29秒</p> <p>2021 大阪国際女子マラソン 8位/2時間29分52秒</p>
	<p>岡田 唯 320 OKADA Yui</p> <p>大塚製薬</p> <p>2020 名古屋ウィメンズマラソン 2時間32分00秒</p> <p>2020 全日本実業団ハーフマラソン 1時間12分40秒</p>		<p>清水 美穂 321 SHIMIZU Miho</p> <p>ホクレン</p> <p>2021 全日本実業団ハーフマラソン 1時間12分33秒</p>		<p>菊地 優子 322 KIKUCHI Yuko</p> <p>ホクレン</p> <p>2022 大阪ハーフマラソン 1時間12分46秒</p>
	<p>関野 茜 323 SEKINO Akane</p> <p>コモディイダ</p> <p>2021 大阪国際女子マラソン 2時間49分00秒</p> <p>2017 山陽女子ロードレース(ハーフ) 8位/1時間10分28秒</p>		<p>吉田 香澄 324 YOSHIDA Kasumi</p> <p>愛知電機</p> <p>2020 全日本実業団ハーフマラソン 1時間12分30秒</p> <p>2019 まつえレディースハーフマラソン 1時間13分02秒</p>		<p>藤田 愛子 325 FUJITA Aiko</p> <p>愛知電機</p> <p>2021 山陽女子ロードレース(ハーフ) 1時間13分53秒</p>
	<p>三宅 翔子 326 MIYAKE Shoko</p> <p>十八親和銀行</p> <p>2021 山陽女子ロードレース(ハーフ) 1時間16分14秒</p>		<p>藤村 光紀 327 FUJIMURA Mizuki</p> <p>十八親和銀行</p> <p>2020 山陽女子ロードレース(10km) 35分13秒</p>		<p>森田 香織 328 MORITA Kaori</p> <p>パナソニック</p> <p>2022 東京マラソン 10位(日本人3位)/2時間27分38秒</p> <p>2021 全日本実業団ハーフマラソン 8位/1時間10分28秒</p>

3)車いす招待選手

	<p>樋口 政幸 402 HIGUCHI Masayuki</p> <p>PUMA JAPAN</p> <p>2021 東京パラリンピック(5000m) 8位/10分31秒28</p> <p>2019 仙台国際ハーフマラソン 2位/47分39秒</p>		<p>吉田 竜太 403 YOSHIDA Ryota</p> <p>SUS</p> <p>2021 Challenge Tokyo Para 42.195km in 立川 2位/1時間30分42秒</p> <p>2019 仙台国際ハーフマラソン 3位/48分48秒</p> <p>2017 ベルリンマラソン 3位/1時間32分43秒</p>		<p>土田 和歌子 404 TSUCHIDA Wakako</p> <p>ウィルレイズ</p> <p>2021 東京パラリンピックマラソン 4位/1時間38分32秒</p> <p>2011 ポストンマラソン 1位/1時間34分06秒</p>
---	---	---	---	---	---

4)大学招待選手[男子]

41	赤星 雄斗 AKAHOSHI Yuto 2021世田谷246ハーフマラソン/1時間08分46秒	駒澤大学
42	金子 伊吹 KANEKO Ibuki 2020日本体育大学長距離競技会(10000m)/29分29秒62	駒澤大学
43	平 駿介 TAIRA Shunsuke 2021日本学生ハーフマラソン選手権/1時間05分02秒	順天堂大学
44	内田 征治 UCHIDA Masaya 2020箱根駅伝予選会(ハーフ)/1時間02分34秒	順天堂大学
45	ルカ・ムセンビ LUKA Musembi 2021世田谷246ハーフマラソン/6位/1時間03分14秒	東京国際大学

5)陸協推薦招待選手[男子]

51	小笠原 太一 OGASAWARA Taichi 2019上尾シティマラソン(ハーフ)/1時間06分31秒	青森陸上競技協会
52	関口 真哉 SEKIGUCHI Shinya 2019一関国際ハーフマラソン/1時間10分15秒	TEAM アテルイ
53	土井 健太郎 DOI Kentaro 2020神奈川マラソン(ハーフ)/1時間07分52秒	土崎陸友会
54	林 尚範 HAYASHI Takanori 2021Jヴィレッジハーフマラソン/2位/1時間08分57秒	MAX PJT
55	野沢 悠真 NOZAWA Yuma 2021日本体育大学長距離競技会(5000m)/14分13秒27	創価大学

6)都市交流招待選手[男子]

61	竹崎 大輔 TAKEZAKI Daisuke 2019久米島マラソン/3時間37分48秒	
62	松田 祐輔 MATSUDA Yusuke 2019神戸マラソン/2時間30分17秒	
63	奥山 善人 OKUYAMA Yoshito 2019おかやまマラソン/7位/2時間25分31秒	GSDF 岡山

10)その他の有力選手

[男子]

No.	氏名	所属団体名	主な記録
101	山岸 宏貴	GMOインターネットグループ	2019ドーハ世界陸上(マラソン)/2時間16分43秒
102	松村 優樹	Honda	2021びわ湖毎日マラソン/2時間09分01秒
103	木村 慎	Honda	2020全日本実業団ハーフマラソン/5位/1時間00分54秒
104	足羽 純実	Honda	2021びわ湖毎日マラソン/2時間07分54秒
105	兼奏 省伍	中国電力	2022別府大分毎日マラソン/2時間10分02秒
106	服部 翔太	日立物流	2021全日本実業団ハーフマラソン/1時間02分43秒
107	桃澤 大祐	サンバルクス	2020丸亀国際ハーフマラソン/1時間01分54秒
108	菊地 海斗	サンバルクス	2021全日本実業団ハーフマラソン/1時間05分32秒
109	高宮 祐樹	ヤクルト	2021びわ湖毎日マラソン/2時間09分30秒
110	堀合 大輔	ヤクルト	2021びわ湖毎日マラソン/2時間12分22秒
111	吉川 洋次	ヤクルト	2022全日本実業団ハーフマラソン/1時間02分04秒
112	大石 巧	スズキ	2021防府読売マラソン/8位/2時間13分09秒
113	藤村 共広	スズキ	2021札幌チャレンジハーフマラソン/1時間02分12秒
114	齋田 直輝	NTN	2019香川丸亀国際ハーフマラソン/1時間02分25秒
115	小森 稜太	NTN	2021びわ湖毎日マラソン/2時間10分33秒
116	野田 一輝	中電工	2018日本学生ハーフマラソン選手権/4位/1時間03分43秒
117	ドナルド・ミティ	中電工	2017カルロヴィ・ヴァリハーフマラソン/6位/1時間02分11秒
118	細川 翔太郎	セキ/興産	2022全日本実業団ハーフマラソン/1時間03分02秒
119	中村 風馬	富士通	2021全日本大学駅伝(6区:12.8km)/2位/37分30秒
120	大山 憲明	コニカミノルタ	2022別府大分毎日マラソン/2時間15分11秒
121	伊勢 翔吾	コニカミノルタ	2022別府大分毎日マラソン/2時間11分32秒
122	大崎 遼	小森コーポレーション	2022大阪ハーフマラソン/1時間03分49秒
123	西田 壮志	トヨタ自動車	2019焼津ハーフマラソン/3位/1時間03分27秒
124	秋山 太陽	森ビル	2022大阪ハーフマラソン/1時間04分22秒
125	大久保 陸人	コモディイイダ	2021日本体育大学長距離競技会(10000m)/29分08秒06

[女子]

No.	氏名	所属団体名	主な記録
351	鷺見 梓沙	ユニバーサルエンターテインメント	2018日本体育大学長距離競技会(5000m)/15分52秒53
352	田川 友貴	ユニバーサルエンターテインメント	2019日本学生女子ハーフマラソン選手権/3位/1時間11分35秒
353	庄司 琴美	愛知電機	2021山陽女子ロードレース(10km)/34分52秒

7)陸協推薦招待選手[女子]

331	中島 温美 NAKASHIMA Atsumi 2021宮古サーモン・ハーフマラソン/1位/1時間28分11秒	IWASPO-AC
332	鈴木 絵里 SUZUKI Eri 2022大阪国際女子マラソン/2時間44分36秒	能代山本陸協
333	千葉 彩有花 CHIBA Sayuka 2021山陽女子ロードレース(ハーフ)/1時間19分59秒	宮城陸協

8)東北学連招待選手[女子]

334	齋藤 凜 SAITO Rin 2019山陽女子ロードレース(10km)/33分48秒	石巻専修大学
335	高橋 里奈 TAKAHASHI Rina 2021山陽女子ロードレース(ハーフ)/37分24秒	石巻専修大学

9)都市交流招待選手[女子]

341	豊里 麗子 TOYOSATO Reiko 2019久米島マラソン/4時間04分16秒	
342	井川 夏実 IKAWA Natsumi 2019神戸マラソン/2時間56分25秒	神戸学院大学
343	筒本 恭実 TSUTSUMOTO Yoshimi 2020愛媛マラソン/2位/2時間45分37秒	広島県庁 RC

3. 大会スペシャルアンバサダー・ゲストランナー

SPECIAL AMBASSADOR

スペシャルアンバサダー

2012年大会よりご協力いただいている高橋尚子さん（シドニーオリンピック女子マラソン金メダリスト）に、今大会もスペシャルアンバサダーに就任していただきました。

レース当日5月8日（日）のスタート・フィニッシュ会場及びコース上でのランナーの皆様への応援に加え、大会の運営等に関して各種アドバイスをいただくなど、大会全般に渡りご協力をいただきます。

PROFILE

岐阜県出身

中学から本格的に陸上競技を始め、県立岐阜商業高校、大阪学院大学を経て実業団へ。1998年名古屋国際女子マラソンで初優勝、以来マラソン6連勝。2000年シドニー五輪金メダルを獲得し、同年国民栄誉賞受賞。2001年ベルリンでは女性として初めて2時間20分を切る世界記録（当時）を樹立する。2008年10月現役引退を発表。

- 公益財団法人日本陸上競技連盟 理事
- 公益財団法人日本オリンピック委員会 理事
- 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 理事兼アスリート委員会委員長
- 一般社団法人パラスポーツ推進ネットワーク理事長。
- その他「高橋尚子のスマイル アフリカ プロジェクト」や環境活動、TBSスポーツキャスター、JICAオフィシャルサポーター、中日新聞社本社社員などで活躍中。

高橋尚子さんからのメッセージ

皆さん、こんにちは、大会アンバサダーの高橋尚子です。2020年そして2021年は新型コロナウイルス感染拡大により大会は中止となりましたが、今年は「仙台国際ハーフマラソン2022チャレンジレース」として開催されることとなりました。感染症対策を徹底した上で、参加人数も絞り、新しい様式にてチャレンジする今年の大会ですが、何としても開催したいという関係者の方々の熱意、努力の結晶の賜物です。また、ボランティアの皆さまの熱意・努力、そして参加者の皆様のご協力があって初めて成立するものだと思います。あらためて皆さまのご尽力に心から敬意を表します。この大会に関わるすべての人々への感謝の気持ちを込めて、新緑溢れる杜の都を共に駆け抜けるのをとても楽しみにしています。5月8日仙台で皆さんと走れる喜びを分かち合い、笑顔あふれる大会となることを心より願っています。



高橋 尚子
TAKAHASHI Naoko

GUEST RUNNER

ゲストランナー

PROFILE

福岡県出身

高校時代、陸上部の中距離選手として関東大会に2回出場したものの高校卒業と同時に陸上も卒業。卒業後は専門学校に進み、大手町でOL生活を送っていたが、昼休みに会社の同僚と皇居を訪れた際、ジョギングを楽しんでいる人がたくさんいることに感動し、翌日から皇居を走り始める。その後、1991年東京国際女子マラソンや1994年パリマラソンなどで優勝するなど輝かしい成績を残している。1992年には『東京都民文化栄誉賞』『朝日スポーツ賞』を受賞。2009年には『外務大臣表彰』を受賞。

- 公益財団法人ブルーシー & グリーンランド財団評議員
- 東京都公園協会 理事
- NPO法人[AAR JAPAN] 理事
- 一般財団法人アールビーズスポーツ財団 評議員
- 一般社団法人明大アスレチックマネジメント 理事

谷川真理さんからのメッセージ

みなさん、こんにちは！大好きな街！仙台で開催される2022年チャレンジレースが心から楽しみな谷川真理です。現在の社会情勢下、万全の感染対策を施して頂き、大会開催頂けると、本当に嬉しく思います。1日も早く世界の皆さんが笑顔になれる日が訪れることを願うばかりです。チャレンジ！私の好きな言葉の一つです。新緑美しい5月の仙台でみなさんそれぞれの素晴らしいチャレンジレースを期待しています。2022年チャレンジレースにてみなさんのはじける笑顔とお会いできることを心から楽しみにしております。心は一つに！最高の笑顔とともに仙台を満喫しましょう！



谷川 真理
TANIGAWA Mari

SPECIAL GUEST RUNNER

特別ゲストランナー

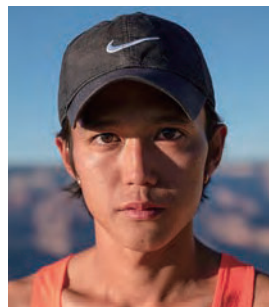
PROFILE

東京都出身

中学校で本格的に陸上競技を始め、佐久長聖高校へ進学。早稲田大学時代には箱根駅伝で2度の区間賞を獲得し2013年モスクワ世界選手権10000m代表に選出される。卒業後は日清食品グループ、ナイキ・オレゴンプロジェクト（アジア人初）を経てナイキ所属のプロランナーとして活動。2018年シカゴマラソン・2020東京マラソンにて日本記録（当時）を2度更新。東京五輪男子マラソン6位入賞。

大迫傑さんからのメッセージ

このたび仙台国際ハーフマラソンにゲストランナーとして参加させていただくことになりました大迫傑です。仙台といえば自然豊かな街。そして、野球、サッカー、バスケットボールとプロスポーツチームも活躍されているなど、スポーツが盛んな街という印象です。そんな仙台で30年以上も開催されている大会に参加できて嬉しく思っています。言うまでもなく、マラソンはシンプルなスポーツです。市民参加のマラソン大会では、速さを求めるも良いし、自分のペースでゴールを目指すのも良いし、自分と向き合うひとときを味わっても良いと思います。走ることは、自分を主人公に人生を楽しむ大切な時間です。そして、見慣れた場所が、一歩踏み出した途端にいつもと違う表情を見せはじめます。初めて走る仙台の街が、どんな景色に変わるか今から楽しみです。特別な時間を、皆さんと一緒に味わえたらとワクワクしています。コロナに十分気をつけながら、5月8日を楽しみましょう！



大迫 傑
OSAKO Suguru